

生き方部会だより

Vol. 62

2016. 10. 24

文責：古川亜希子

(事務局長)

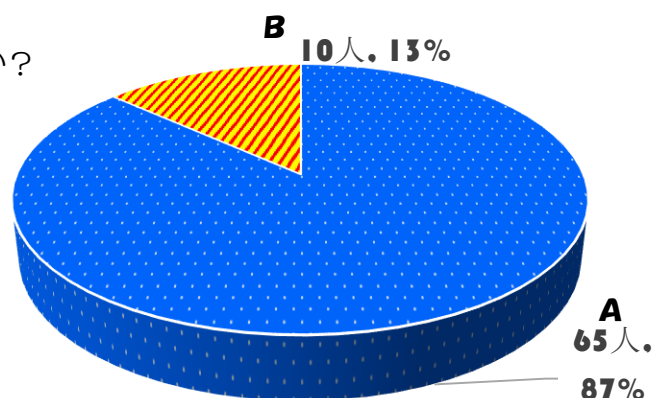
研究協議会 お疲れ様でした！

9月6日の課題部会研究協議会には、たくさんの方にご参加いただき、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。また、アンケートの回答もありがとうございました。以下、皆さんからのご意見の一部を掲載しています。このご意見をもとに次年度以降の研究を進めていきたいと考えております。また、少しでも部会員の皆さんのご意見を反映できるようにしたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

アンケート結果について (n=75)

◇所属していた分科会は、期待した内容の分科会でしたか？

評価	人数
A よい	65
B ふう	10
C がんばろう	0



◇第1分科会 ボランティア教育

<運営面について>

- ・楽しく体験できました。
- ・ありさだの方のお話は3回目くらいですが、いつも参考になることがあり良かったです。
- ・レポートと体験活動の両方があってよかったです。
- ・いい汗をかきました。障がい者スポーツに大変興味がわきました。
- ・レポートは、振り返りは書きやすいのですが、生徒への還元は難しい。何か継続できるレポート方法があればよいのですが…。
- ・実践していないためレポート提出ができず、次年度への課題となりました。
- ・なかなか実践の記録が聞けないので、聞けたらもっと良いなと思うのですが、難しいですね。

<次年度以降研究してみたい内容>

- ・何か新しいスポーツ ・引き続きスポーツで。スポーツはもっと掘り下げていいかも…
- ・ディスクゴルフの練習やいろんなバージョン ・手話の講座

◇第2分科会 コミュニケーション

<運営面について>

- ・早速実践してみたい内容でした。役に立つ情報を深く教えていただくことができよかったです。
- ・中野先生のセッションはわかりやすく大変助かりました。このような時間を来年度以降も考えていただければうれしいです。
- ・講演会「外在化」はとても勉強になりました。これから意識して指導していければと思います。

- ・グループワークがよかったです。能動的にカウンセリングの方法を楽しみながら学ぶことができました。
- ・レポートの形式というか、どんなことをどう書いたらいいのか不慣れでわかりませんでした。
- ・レポートを集めた意味があまりなかったように思います。やはりレポート交流が必要だったと思います。
- ・レポート交流がなくて残念でした。実践してみたいものもあったので。
- ・レポートは不要です。今年度の形のほうがためになる。ないほうが先生方の負担も減り、石教研への前向きな関わり方がよりできる。レポート交流も大変貴重な機会とは思いますが、読む時間がありません。

<次年度以降研究してみたい内容>

- ・教育相談、カウンセリング ・ソーシャルスキルトレーニング ・エンカウンターやアサーティブネス
- ・子どもが将来に夢をもてるような実践 ・アドラー心理学をいかした学級経営 ・ファシリテーション
- ・「話せない」者とのコミュニケーション ・子どもたちの自己有用感をどう高めていくか

分科会の様子…

第1分科会 ボランティア教育



昨年に引き続き、講師に NPO 法人「あ・りーさだ」の正木 英之氏をお招きしました。レポートの交流のあと、正木氏よりパラリンピックの競技を解説していただき、新たなユニバーサルスポーツを知ることができました。その後、競技用車いすの体験、フライングディスクの実践と、非常に貴重な体験をさせていただきました。

第2分科会 コミュニケーション

講師にスクールカウンセラーの中野ひろみ氏をお招きし、カウンセリングについてご講演いただきました。前半は大変わかりやすく、楽しいお話をしていただき、後半は「外在化」についてのグループワークを行いました。外在化する手法についても大変わかりやすく教えていただき、あっという間に時間が過ぎていきました。

